

【 開 催 要 項 】

協働探究ラウンドテーブル 2025 「学びへのまなざし」をめぐる対話

1 開催趣旨と目的：

連合教職大学院では、2019年より、高校の中堅教師を対象とし、生徒と教師が共通の課題について対話を重ねながら理解を深めていく教員研修を開発してきました。教師は生徒から学ぶ。それならば、教師が生徒とともに学び合いながら、自律的学習者としての資質・能力を磨き上げる研修が必要となるのではないか。このような問題意識で開発したのが「協働探究ラウンドテーブル」です。

今回のテーマは「学びへのまなざし」です。

想像してみましょう。眠っている赤ちゃんを見つめる母親の目を。卒業式の日壇上に立つ生徒の姿を見つめる教師の目を。恋人を見つめる彼・彼女の目を。「目は口ほどにものを言う」という諺があります。言葉にしなくても、「目」によって多くのことが伝わるのだ、ということです。ここでいう「目」が「まなざし」となります。

ところで、私たちの目はすべてを見ることができても、自分自身の目は見ることはできません。このラウンドテーブルでは、自分自身の「目」を見ることが課題となります。自分自身が「学ぶこと」にどのような「目」を向けているのか、他の人はどうなのか。つまり「学びへのまなざし」について考えていきます。

「かんじんなことは目に見えないんだよ」(『星の王子さま』)——サン＝テグジュペリの言葉です。これがこのラウンドテーブルの目的となります。参加者一人ひとりの「学びへのまなざし」が交差し、離散集合する体験を通して、各自の「学びへのまなざし」を言葉にしてみる試みを重ねながら、学ぶことの意味、学びを支える姿勢、そして学びを支え合う関係について理解を深めていきます。

2 行事名： 協働探究ラウンドテーブル 2025 「学びへのまなざし」をめぐる対話

3 開催日及び日程

(1)開催日：2025年11月22日(土) 13:00~16:30(受付開始は12:30)

(2)日程(予定)

12:30 受付開始(12:55までに完了してください)

13:00~13:45 Session1 「まなざし」の世界へようこそ(アイスブレイクと自己紹介)

13:45~14:45 Session2 「学びへのまなざし」の記憶を呼び覚ます(対話)

(休憩)

14:55~15:55 Session3 JALOODAにおける「学びへのまなざし」(講演と対話)

講師：日本航空株式会社 運航本部(機長) 片桐 潔志 氏

15:55~16:30 リフレクション

*筆記用具(鉛筆もしくはシャープペンシルと消しゴム)を持参してください。

4 会場：奈良女子大学(奈良市北魚屋町)・S棟235教室

5 運営組織

主催： 国立大学法人福井大学・大学院福井大学・岐阜聖徳学園大学・富山国際大学連合教職開発研究科（連合教職大学院）

責任者： 鮫島 京一（福井大学連合教職大学院・教授）

事務局（問い合わせ先）： 福井市文京 3-9-1 tel. 0776-27-8970. ksame@u-fukui.ac.jp

6 対象： 高校生・教職員（教育行政職員・教育研究者含む）、おとな（保護者・学生・院生、民間）など
合計 100 名程度（参加料無料）

7 申し込み方法： Google フォームより申し込み（期限：11月14日）

<https://forms.gle/XVTZvfetTUJaxQHc9>



8 その他

(1) 本会は以下より助成を受けて開催します。

科学研究費基盤研究 C：中堅教師の教職専門性の質的向上を支え促す対話型研修モデルの研究開発
（課題番号：21K02435、研究代表者：鮫島京一）

(2) 本会は 2021 年より日本航空株式会社経営企画本部経営戦略部にご協力いただき、開催しています。